

「いのち輝く未来社会」 実現にむけた 共創カンファレンス

～『これからの社会が求める医療』をテーマに、
社会課題解決への挑戦を～

日時 2023年10月11日(水)
13:00～17:50
場所 大阪商工会議所 7階
国際会議ホール

社会課題解決への貢献
新事業開発につながる協業探索
未来の課題を把握
企業の持続的経営・価値向上
いのちを守る地域づくり



あらゆる人のWell-beingがより重視される
2025年、大阪は万博開催を迎えます。内外から多くの人が訪れる一方、労働力不足や大規模災害のリスク等、多様な課題に直面する懸念も生じます。

本カンファレンスは、「社会課題が先行して現れる医療」という場面をテーマに、多様な企業がその課題解決を担うことで、新たなビジネス開拓や、社員の安全安心を重視した経営、地域への貢献等を実現するとともに、企業価値向上にもつなげていただくための事業です。

テーマは、来訪者増にも対応できる『救命救急医療』、いつでも起こりうる災害に備える『災害医療』、医療従事者、患者の負担を軽減する『優しい病院』。

各分野の専門家、企業関係者、行政関係者による「未来の課題洗い出し」や、具体的な課題を解決する共同開発提案をお聴きいただけます。多様な企業がご参加の対象になります。ぜひご参加ください。

多様な企業・組織がご参加の対象に

製造・サービス等

製造業（化学、プラスチック、金属、電機、医療、食品、飲料、繊維、家具、事務機器、生活・衛生用品、アウトドア 等）
IT・通信・情報サービス AI, ロボット, XR 建設・設備・インフラ 流通、サービス、経営支援 その他企業

- 医療従事者や、課題を持つ企業との共同開発で新事業開拓（医療機関内に加え、医療機関外の場面で利用される医療関連製品、人を守るための製品やサービスの開発等）
- 社会課題解決への貢献による企業価値向上
- 未来のリスクを知り、社員を守る持続的経営、地域貢献の実現

多くの利用者を持つ企業

大規模集客施設
イベント運営
公共交通機関、公共施設
観光・旅行・飲食 教育機関

- 現状の課題把握
- 未来社会で懸念が大きくなる課題の把握
- 先行解決事例の情報収集
- 今後の対応策の検討

医療

医師・看護師・救急救命士・医療機関

- 先行解決事例の情報収集
- 共同開発を行う企業との連携
- 未来社会で懸念が大きくなる課題の洗い出し
- 新たな解決策の社会実装に向けた課題の整理

行政 国・自治体

- 先行解決事例の情報収集
- 共同開発を行う企業との連携
- 未来社会で懸念がおおきくなる課題の洗い出し
- 新たな解決策の社会実装に向けた課題の整理や支援策の検討

申込 ・参加無料
・右記QRコードより【10月10日(火)正午】までにお申込みください
・大商HP「セミナー・イベント(10/11)」からも申込可能

問合せ 大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当 06-6944-6484
bio@osaka.cci.or.jp



□主催：大阪商工会議所
□特別協力：（一社）夢洲新産業・都市創造機構 （公財）都市活力研究所
（予定） 国立病院機構大阪医療センター-Bi-AMPS
□後援：（公社）2025年日本国際博覧会協会 近畿経済産業局 大阪府 大阪市 （公財）大阪観光局
（予定）

©Expo 2025

13:00~13:45
【オープニング】

これからの社会の課題解決を担う挑戦を

I. キーノート

「社会が必要とする企業であるために
～これからの社会が求める医療への貢献～ (仮題)」
大阪商工会議所 副会頭 手代木 功
(塩野義製薬(株)代表取締役会長兼社長CEO)



II. 講演

「社会課題解決による企業価値の向上～レスポンシブル・ビジネスの実現～」
アクセンチュア(株)ビジネス コンサルティング本部
サステナビリティグループ日本統括 海老原 城一氏

13:45~14:50
【救命救急医療】

I. 現状の課題解決セッション

「救命救急医療の現状と課題解決が急がれる機器開発 (仮題)」
国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター長 大西 光雄氏)

II. 未来の課題解決プレストセッション

高齢化の加速や万博開催等を見据えたインバウンド増を背景に、これからの社会で求められる救命救急医療のあり方について議論

<パネリスト>

医師・救急救命士、DMAT、コメディカル、大阪市消防局、(株)ロイヤルホテル、
エアストレッチャー(株) (傷病者搬送用ストレッチャー) など

<オブザーバー>

救命救急関連製品開発企業、空飛ぶ車など

III. 共同開発提案

・国立病院機構本部 DMAT事務局 次長 若井 聡智氏

15:00~16:30
【災害医療】

I. 現状の課題解決セッション

「大規模広域災害時医療の現状の課題と、その解決策を担う企業への期待 (仮題)」
日本医科大学 救急医学 教授 布施 明 氏

II. 未来の課題解決プレストセッション

南海トラフ地震等の大規模災害に見舞われることを想定し、その課題解決において企業が担うこと、被災側として準備しておくことについて議論

<パネリスト>

気仙沼市立病院(医師)、国立病院機構災害医療センター(医師)、神戸市健康局(保健師)、
医薬基盤・健康・栄養研究所 (災害栄養)、大規模集客施設関係者など

<オブザーバー>

大阪府危機管理室、ドローン、簡易陰圧装置、点滴静注ポンプ、空飛ぶ車、アウトドア用品等の企業など

III. 共同開発提案

・気仙沼市立病院 脳神経外科科長 成田 徳雄 氏
・国立病院機構災害医療センター 救命救急センター救命救急科 医長 高田 浩明 氏

16:30~17:50
【優しい病院】

I. 現状の課題解決セッション

「医療従事者・患者双方の負担を軽減する病院の必要性と急ぐ課題解決のための機器開発 (仮題)」
国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター長 金村 米博 氏

II. 未来の課題解決プレストセッション

医療従事者、患者双方の負担を軽減し、快適な「これからの病院」のあり方と、それを実現するための課題について議論

<パネリスト>

大阪大学(医師)、シップヘルスケアホールディングス(株)(病院経営効率化システム)、
(株)ユカリア(病院経営支援)、ニプロ(株)(見守り支援システム)、兵庫医科大学(病院事務部)など

<オブザーバー>

コルポスコープ、とろみづけカップ等の企業など

III. 共同開発提案

・大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科学 特任助教 三隅 祐輔 氏
・医療法人医誠会 経営戦略企画室 青儀 侑介 氏